運営状況概要書

(公益2)

法人名：

公益財団法人 あきた移植医療協会

設立年月日 平成7年3月29日

1 法人の概要												
代表者職氏名	理事長 羽瀨友則	基本財産等	137,790千円	県出資等額及び比率	60,004千円	(43.5%)	所管部課名	健康福祉部保健・疾病対策課				
設立目的	臓器移植及び組織移植の推進を図るため、臓器及び組織の移植等に関する知識の普及啓発と臓器移植及び組織移植のための諸条件の整備、援助等を行い、もって県民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする。											
事業概要	(1)臓器移植及び組織移植に関する知識の普及啓発、(2)臓器及び組織の機能不全の予防に関する知識の普及啓発、(3)眼球提供者及び角膜移植希望者の登録、(4)眼球の摘出、保存及びあっせん、(5)組織適合性検査に係る費用の助成、(6)臓器及び組織提供者に対する敬弔費の支給、(7)医療機関等に対する臓器及び組織の摘出に係る費用の助成、(8)臓器移植及び組織移植を推進するための調査、研究等											
関連法令、県計画	臓器の移植に関する法律、秋田県医療保健福祉計画											
役員数 (R6.7.1現在)	理事		監事		評議員		計		職員数 (R6.4.1現在)			
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤		正職員	出向職員	臨時・嘱託
		10		2		9		21	3			3

※役員と職員を兼ねている者の人数は、役員と職員の両方に計上し、職員数には括弧(内数)で表示。

2 法人の行動計画(令和4～7年度)									
県関与のあり方	継続	経営状況	健全化が必要	取組の方向性	・要経営改善 ・公益的事業の安定実施				
目標	○経営の安定化に向けて、賛助会員を確保して会費収入の増を図るとともに、法人のあり方等について検討していく。 ○移植医療に関する啓発及び知識の普及について、継続して取り組んでいく。								
取組	○経営の安定化に向けて、賛助会員を確保する。 【目標】賛助会員の確保 各年度 170会員 ○臓器移植の普及啓発を図るため、賛同する企業・団体を「グリーンリボンサポーター」に認定し、自主的な普及啓発活動を促進・支援する。 【目標】グリーンサポーターの認定 各年度50団体								

3 財務														
①正味財産増減計算書 (単位:千円)					②貸借対照表 (単位:千円)					<主な経営指標>				
区 分		令和4年度	令和5年度	区 分		令和4年度	令和5年度	項 目		令和4年度	令和5年度	増減※		
経常収益		16,833	17,580	流動資産		3,808	4,322	経常収支比率 (経常収益÷経常費用)		98.8%	101.7%	+2.9		
基本財産・特定資産運用益		685	674	固定資産		159,432	153,620	流動比率 (流動資産÷流動負債)		1437.0%	891.1%	△545.8		
受取会費・受取寄附金		1,766	2,688	資産計		163,240	157,942	自己資本比率 (純資産計÷負債・純資産計)		99.8%	99.7%	△0.1		
受託事業収益		6,544	6,687	流動負債		265	485	有利子負債比率 (有利子負債÷純資産計)						
自主事業収益		450		短期借入金				※端数処理の関係で増減が一致しないことがある。						
受取補助金・受取負担金		1,579	1,271	固定負債				<退職給与引当状況(単位:千円)>						
その他の収益		5,809	6,260	長期借入金				要支給額	引当額	引当率(%)				
経常費用		17,042	17,286	負債計		265	485	0	0	-	※中小企業退職協会制度に加入している。			
事業費		13,652	13,688	指定正味財産		159,433	153,620	③県の財政的関与の状況(事業費補助・委託を除く) (単位:千円)						
管理費		3,390	3,598	うち基本財産充当額		137,790	137,790	区 分		令和4年度	令和5年度	支出目的等		
人件費(事業費分含む)		12,514	13,204	一般正味財産		3,542	3,837	年間支出						
当期経常増減額		△209	294	うち基本財産充当額				年度末残高						
経常外収益				正味財産計		162,975	157,457							
経常外費用				負債・正味財産計		163,240	157,942							
当期経常外増減額														
当期一般正味財産増減額		△209	294											
当期指定正味財産増減額		△5,314	△5,812											
当期正味財産増減額合計		△5,523	△5,518											

法人名：

公益財団法人 あきた移植医療協会

I 自己評価

1 行動計画における目標及び取組の達成状況	2 経営状況		
<p>【令和5年度実績】</p> <p>○賛助会員の確保：法人101会員（新規6、退会2）、個人78会員（新規8、退会2）、計179会員（前年度：169会員、目標：170会員）</p> <p>○グリーンリボンサポーターの認定：新規13団体、計72団体（前年度：59団体、目標：50団体）</p>	<p>【令和5年度実績】</p> <p>○経常収益：17,580千円（前年度：16,833千円）</p> <p>○経常費用：17,286千円（前年度：17,042千円）</p> <p>○指定正味財産期末残高：153,620千円（前年度：159,433千円）</p> <p>○一般正味財産期末残高：3,837千円（前年度：3,542千円）</p>		
<p>【自己評価】</p> <p>○新規会員については、一定数を確保することが出来たが、7月の豪雨災害の影響に伴い、秋田市内を中心に会費未納者が例年より増え、金額的には1,401千円と前年度の1,450千円を下回る結果となった。</p> <p>○グリーンリボンサポーターについては、きめ細やかな戸別訪問の実施により、一定の成果を上げたことから、引き続き丁寧な企業訪問とフォローアップを継続していく。</p>	<p>【自己評価】</p> <p>○長引く低金利と国際情勢の不透明さから、この先の運用益には期待が持てず、寄付額も伸び悩む状態にあることから、指定正味財産を取り崩しながらの運営となっている。</p> <p>○これまでも様々な案を検討してきたが、安定した経営に向けての特効薬はなく、まずは手書き経理のシステム化をはじめ、管理業務の電算化等により、令和7年度以降の人員の削減に向けた試行錯誤を行っている。</p>		
評価	A	評価	B

II 所管課評価

1 行動計画における目標及び取組の達成状況	2 経営状況		
<p>【所管課評価】</p> <p>○災害により会費未納者が一定数いたようだが、きめ細やかな対応により新規会員を獲得できており、目標の170会員を上回っていることから結果が出ている。</p> <p>○臓器移植に関する正しい知識の普及啓発を進めることにより、移植医療の推進を図り、県民の健康と福祉の向上に大きく寄与するものであり、公共的役割を十分に果たしている。</p>	<p>【所管課評価】</p> <p>○新規会員確保等の経営努力を行っているが、安定的ではないため経常収支のマイナスを特定資産で補填している状況である。</p> <p>○今後も収支均衡を図るとともに、引き続き会員確保の努力や令和7年度以降の人員削減に向けて検討を行っている。</p>		
評価	A	評価	B

III 委員会評価

総合評価	法人全体の取組・運営状況に関するコメント
B	<p>○行動計画の目標に関しては達成できている一方で、会費納入額が前年度を下回るほか、引き続き指定正味財産を取り崩しながらの運営となっていることから、経営状況の健全化に取り組む必要がある。</p>

【委員からの提言】

<p>○経営状況の健全化に当たっては、管理業務の電算化等による費用の削減のほか、寄附金収入などの収益の増加にも取り組む必要があると考える。</p> <p>○寄附金収入に関しては、協会の活動内容や当該寄附金が寄附金控除の対象になることを十分にPRするなど、協会の活動に賛同する個人からの寄附を積極的に募るような取組を期待する。</p>
--

委員会評価を踏まえた対応方針

法人の対応方針	所管課の対応方針
<p>○職員の減員で、経費削減は限界に達することから、全職員が危機意識を持った上で、賛助会員の拡大に向けた企業・団体訪問を行うことに加え、ダイレクトメールの送付等で賛同を呼びかけていく。</p> <p>○普及啓発活動のあらゆる機会を通じて、募金箱を設置し寄附を募っていく。</p>	<p>○経営状況の健全化に向け、今後の協会の体制について引き続き検討を行っていく。</p> <p>○賛助会員の拡大に向けて、所管課として臓器移植に関する普及啓発活動など可能な限り協力していく。</p>